



校務の ICT 活用をさらに広げていきたい やれる部分からどんどんチャレンジ



これからの教育活動の充実のために、ICT の活用は欠かせません。授業の中での活用はもちろん、学校の働き方改革にも大きな役割を果たす ICT を、教職員が積極的に校務で活用している学校の取組について紹介します。

Topic

①

ICT を活用してメリットを実感



(金沢区)
西柴小学校

西柴小の ICT の活用による校務効率化

★各種おたよりのメール配信 (現在のアプリを活用)

「保健だより」「給食だより」をメール配信

- ※次年度は「学校だより」も検討中
- ※保護者の声

「お手紙が届かない時がある。
データでもらえるとありがたい。」

印刷時間
削減

配付時間
削減



★学年だよりの配付 → 学校ホームページの活用へ

学校だよりの巻頭言

学年ごとの学習の様子を更新

※学年だよりの紙での配付は廃止

※月の行事予定や学習予定はパスワード付で HP に配信

印刷時間
削減

配付時間
削減

作成時間
縮減

【時間外在校等時間】(4~6月)
R5はR4よりも 平均 **7:24 削減**

★デジタルドリル導入

- 算数をベースに4教科のデジタルドリルを導入
- 学年費で購入、紙ドリルと価格差は大きくない



【メリット】

- ・前の学年までの復習が可能
- ・先生もリアルタイムでチェック可能
- ・データがアップデートされる
- ・丸つけが自動化
- ・個々の習熟状況に応じた活用が可能

★クラウドで資料共有



ロイロテキストのデータ
児童用のアンケート
校内放送の資料 (動画)



職員会議資料・議事録
部会・行事の資料
重点研の指導案
ワークシートなど



校内 GIGA 部
主任

子どもたちは、登校したらすぐに GIGA 端末を開き、Google クラウドのコメントなどを見ることが習慣化されています。ICT を使うことが苦手だった先生も、校内の研修を通して先生方や子どもたちと一緒に高め合っています。

Topic

②

地域への学校のサポート依頼に ICT を活用



(港北区)
綱島東小学校



副校長

学校連携協働本部 (まるっとつなひが) で Google フォームを活用しています。年度はじめの PTA 広報誌で「学校応援サポーター」を QR コードで募集します。結果、4月入学期に1年生をサポートするボランティアの方は延べ人数で100人になりました。まちたんけんや交通安全教室などでもご活躍いただいています。電話確認や参加の集約を行わなくて済むのでとても助かっています。



校長



「まるっとつなひが」依頼の流れ

【依頼する教員】

- ① Google フォームで依頼を作成
- ② 作成完了を副校長に伝達

【管理職】

- ③ 依頼内容を地域コーディネーターに伝達

～ 募集スタート ～

- ④ 結果を依頼した教員に伝達
- 【依頼する教員】

- ⑤ 参加していただくサポーターに内容を伝達



募集結果を
クラウドにて
共有

学校のサポートのために、地域の人にもっと学校に入っていたきたい思いで相談し「まるっとつなひが」は開校50周年の年に立ち上がりました。現在では卒業生も登録をしてくれて、学習サポートで来てくれています。

【時間外在校等時間】(4~6月)
R5はR4よりも 平均 **5:21 削減**



校長

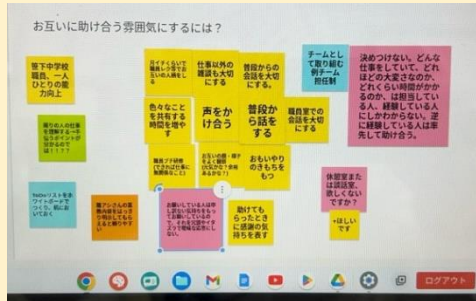
校長 1年目に研修を受講し、そこで「サーベイフィードバック」という手法を学びました。前任校、現在の学校と引き続き5年間、毎年「働き方分析ツール」を活用した取組を実施しています。その後の校内研修でアイデアを出し合う際に、Jamboardを活用しています。画面を通して意見が集約、整理、記録ができるので、とても便利です。

働き方分析ツールの実施

教職員育成課へ実施希望の連絡
教職員がアンケートに回答

学校へフィードバック

データをもとにプロジェクトで
傾向をつかみ課題を共有



【時間外在校等時間】(4~6月)
R5はR4よりも 平均 **10:49 削減**



全教職員で議論

先生方の思いやアイデアを共有
意見集約にはJamboardを活用
(共同編集機能により便利)

よりよい生活のために今あることを見直す
できることはすぐに実行



「すぐーる」の全校導入のメリットを最大限生かせるよう、取り組んでいきます。詳細につきましては、別途送付する事務局からの通知をご覧ください。

すぐーるの主な特徴

- お便りのデジタル配信
- アンケートの送付・回収・集計
- 欠席・遅刻連絡
- 健康連絡帳
- 日程調整
- 既読確認、再通知機能
- 自動翻訳 (12言語)
- ヘルプデスクの設置
- 1人の子どもに4つまで連絡先登録可能
- アプリならではの PUSH 通知機能

【事務局にて検討中】

- 学校関係者 (PTA・部活動等) も利用可能
- 事務局から保護者に直接配信可能

など

- 学校運営費 負担ゼロ**
- 印刷の時間削減**
- お便りを配る時間削減**
- 紙費用の削減**
- 朝の電話対応の負担減**
- アンケートもらくらく**
- 異動しても**
- 不安ゼロ**



105校で「すぐーる」の試験運用開始! ※試験校の募集は締め切りました
11月中導入: 23校、1月中導入: 82校 (予定)
各学校の効果的な活用方法など、試験運用の様子を紹介していきます。

オンライン情報交換会のお知らせ

教育委員会事務局では「持続可能な学校のあり方を探る実践モデル校」を指定し、「質の高い学び」と「持続可能な学校」の両立を目指して研究しています。今回お知らせする情報交換会は、モデル校から日課の工夫などの取組を発表していただくとともに、参加して下さる先生方とオンラインにて直接対話ができる会となっています。たくさんの学校に参加していただけるよう、以下ご案内します。



「質の高い学び」と「持続可能な学校」の両立に向けた学校の取組推進
～ 日課の変更による教育活動の充実を目指して モデル校の実践から ～

☆ 中学校の部 10月17日 (火) 15:30~16:45 に実施しました。全体会でのモデル校の発表を、Leafのeラーニングで配信中です。(研修コード: 23seisaku-e1017)

☆ 小学校の部 全ての日の時程は 15:30~16:45

【1日目】11月21日 (火) 45分授業で4時間・5時間授業の日を増やすモデル校
(研修コード: 23seisaku1121)

【2日目】11月28日 (火) 1コマ40分午前5時間授業のモデル校
(研修コード: 23seisaku1128)

【3日目】11月30日 (木) 1コマの授業時間を柔軟に変更する等の日課の工夫、
その他の取組をするモデル校 (研修コード: 23seisaku1130)

※後日、小学校の部も、全体会のモデル校の発表について、Leafのeラーニングとして配信予定です。

